

# PR&SJ NEWS

2024年12月号 No.368



「PRアワードグランプリ2024」表彰式&プレゼンテーションの様子。P4掲載

## TOPICS

### MESSAGE

P3

昭和枯れすすき  
理事 江中 一穂

### BULLETIN

—模擬緊急記者会見を体験する実践的な基礎講座—

P7

「中堅実務者講座」開催レポート

国際セミナー開催報告「米大統領選挙 テレビとネット、偽情報とプロパガンダ」～きょうのアメリカはあすの日本?～NHK 解説副委員長 飯田香織氏

P8



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 山口 恭正

# 目 次

|                 |  |     |
|-----------------|--|-----|
| 12月～1月スケジュール    |  | P1  |
| MESSAGE(メッセージ)  | 昭和枯れすすき  | P3  |
| ATTENTION(お知らせ) | 「P Rアワードグランプリ 2024」表彰式&プレゼンテーション 12月11日開催  | P4  |
| ”               | 「新春P Rフォーラム 2025・賀詞交歓会」1月23日開催   | P5  |
| ”               | 第37回1次試験お申込み受付中  | P6  |
| BULLETIN(活動報告)  | —模擬緊急記者会見を体験する実践的な基礎講座—  | P7  |
| ”               | 「中堅実務者講座」開催レポート  | P7  |
| ”               | 国際セミナー開催報告<br>「米大統領選挙 テレビとネット、偽情報とプロパガンダ」～きょうのアメリカはあすの日本?～NHK 解説副委員長 飯田香織氏           | P8  |
| ”               | 2次試験を11月9日(土)～17日(日)に実施<br>全国で、405名の受験者が挑戦!  | P11 |
|                 | P Rプランナー・Meet up 2024 をリアル開催<br>80名以上のP Rプランナーが参加!                                   | P13 |
|                 | PRSJ「個人会員向けミートアップ 第1回」11月15日(金)開催報告  | P14 |
| REPORT(講演レポート)  | 第233回定例研究会(正会員・個人会員)<br>“企業とメディアの関係構築” フジテレビ経済報道の視点から<br>講師:株式会社フジテレビジョン 経済部長 小川 美那氏 | P15 |
| PRSJ in MEDIA   | 協会掲載記事   | P16 |
| PLAZA(会員情報)     | 会員便り   | P17 |
| 事務局だより          |  | P18 |

## 12～1月 セミナー・イベント スケジュール

### 【オンデマンド視聴】

|                 |    |                                  |
|-----------------|----|----------------------------------|
| PRプランナー1次試験対策講座 | 講師 | ： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名  |
| PRプランナー2次試験対策講座 | 講師 | ： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名 |
| PRプランナー3次試験対策講座 | 講師 | ： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名           |

### 【オンデマンド視聴】

|                  |    |                               |
|------------------|----|-------------------------------|
| PR集中テーマスタディ<第3回> | 日時 | ： 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木) |
|                  |    | ： ブランディングを実現する最新PR戦略          |

### 【対面】

|                       |     |  |
|-----------------------|-----|--|
| 関西部会主催 2025年新春フォーラム関西 | 日時  | ： 1月21日(火) 17:30～19:00                 |
|                       | 会場  | ： 大阪中之島美術館1階ワークショップルーム                 |
|                       | テーマ | ： 大統領選後のアメリカ                           |
|                       | 講師  | ： 国際政治学者 三牧 聖子氏 (同志社大学グローバルスタディ研究科准教授) |

### 【対面】

|                       |    |                                |
|-----------------------|----|--------------------------------|
| 新春PRフォーラム2024・賀詞交歓会   | 日時 | ： 1月23日(木) 15:00～20:00         |
| 特別講演                  | 会場 | ： 六本木・国際文化会館                   |
| 日本の分断、アメリカの分断         | 講師 | ： スマートニュースメディア研究所長(研究主幹) 山脇岳志氏 |
| ソーシャルメディア時代を生き抜くリテラシー |    | (元朝日新聞論説委員、元ワシントン総局長)          |

### 【対面】

|                |    |   |
|----------------|----|---|
| ディアリレーションズ実践講座 | 日時 | ： 1月24日(金) 17:00～19:00                              |
|                | 会場 | ： 富士ソフトアキバプラザ 7F プレゼンルーム                            |
|                | 講師 | ： エバラ食品工業株式会社 執行役員 コーポレート本部長 学習院女子大学大学院非常勤講師 上岡 典彦氏 |
|                |    | リスト株式会社 広報部次長 田尻 有賀里氏                               |

## 12月～1月の理事会・委員会・部会スケジュール

|           |        |    |                |             |
|-----------|--------|----|----------------|-------------|
| ◇定例理事会    | (12月度) | 日時 | : 12月12日(木)    | 16:00～17:30 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
|           | (1月度)  | 日時 | : 1月9日(木)      | 16:00～17:30 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇教育委員会    | (12月度) | 日時 | : 12月19日(木)    | 16:00～17:00 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇資格委員会    | (12月度) | 日時 | : 12月26日(木)    | 14:00～15:30 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇国際・交流委員会 | (12月度) | 日時 | : 12月6日(金)     | 16:30～17:30 |
|           |        | 会場 | : 住友商事+オンライン開催 |             |
| ◇広報委員会    | (12月度) | 日時 | : 12月26日(木)    | 16:00～17:00 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇顕彰委員会    | (12月度) | 日時 | : 12月18日(水)    | 16:00～17:00 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇企業部会幹事会  | (12月度) | 日時 | : 12月4日(水)     | 17:00～18:00 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |
| ◇PR業部会幹事会 | (12月度) | 日時 | : 12月17日(火)    | 16:00～17:00 |
|           |        | 会場 | : 事務局+オンライン開催  |             |

## 昭和枯れすすき



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事 江中 一穂  
(住友商事(株) 広報部副部長)

早いもので今年も年の瀬を迎えましたが、「ふてほど(不適切にもほどがある)」が流行語大賞を受賞したり、我々世代のアイドル“みぼりん”こと中山美穂さんの死を多くの人が悼んだり、昭和の存在感を改めて感じる師走となりました。

一方、今年一年を振り返ると、都知事選や衆院選、兵庫県知事選での情報戦に象徴される通り、マスメディアに代わり SNS がメディアの主役に躍り出た大きな節目の年だったように思います。更に、AI の活用促進により、フィルターバブル、エコーチェンバーといった課題も生じています。

私は、通算 16 年の広報歴のほとんどをマスメディアリレーションに捧げてきましたが、かつては特ダネをすっぱ抜かれると、記者も我々広報も夜中や早朝に叩き起こされたものでした。今思えば、かなり「ふてほど」なブラック業界でしたね。それが今や様変わり、新聞の締め切り時間は早くなり、想定外の報道があっても、多くの場合はまともな時間に攻防を終えることが出来るようになりました。「働きやすさ」は格段に改善したと言えます。その反面、記者の数が削減され一人当たりの持ち場が増え、取材の件数や、記者と広報が盃を交わしながら意見を戦わせる機会は大きく減った気がします。また、一部のマスメディアは、売らんがために必要以上に見出しにエッジを立てたり、偏った一部の声だけを面白おかしく伝える傾向が見られます。情報の信頼性というマスメディアの優位性を自ら放棄するような行為で、今は売れても、サステナビリティの観点では自殺行為に等しいと思います。

では、このままマスメディアは衰退の一途を辿るのでしょうか？私はそうあって欲しくない、そうあってはいけないと思っています。多くの人々が SNS やネットを活用する今、情報発信や収集は、マスメディアの専売特許ではなくなってしまいましたが、ファクトをしっかりチェック・分析し、大衆迎合に陥ることなく様々な情報や意見を人々に伝え、気付きの機会を与える機能は、まだまだマスメディアに優位性があるのではないのでしょうか？「健全な」批判精神を忘れずに接してくれば、企業や我々広報の成長にも繋がると思います。

もっとも、情報の信頼度を評価したり、耳を傾けるべき意見や足りない情報をリコメンドしてくれる AI 広報君があつという間に登場しそうな気がします。ただ、広報の楽しさや醍醐味は、やはり昭和流の人と人とのコミュニケーションに宿るのではないのでしょうか。昭和世代の広報パーソンとしては、そう信じて頑張ってみようと思います。きっと天国の“みぼりん”も、そんな昭和枯れすすきが花を咲かせるのを「WAKUWAKU させて」と期待してくれていることでしょう(すすきにも花が咲くそうです。ファクトチェック済(笑))

# 「PRアワードグランプリ 2024」 表彰式&プレゼンテーション 12月11日開催

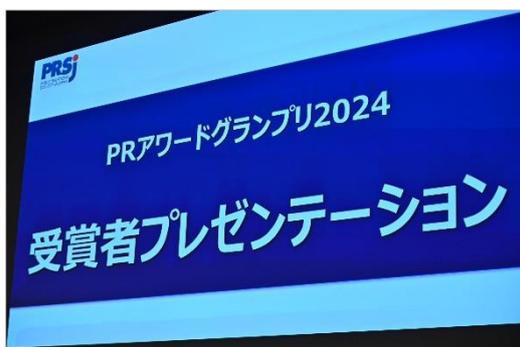


本田審査員長

2024年12月11日（水）、東銀座の時事通信ホールにて、「PRアワードグランプリ 2024」の表彰式およびプレゼンテーションが盛大に開催されました。当日は関係者を含む約170名が参加し、会場は華やかな熱気と期待感に包まれました。

山口理事長のご挨拶、本田審査委員長からの講評につづいて、グランプリ、ゴールド、シルバーの各受賞エントリーの代表者から、企画の意図や実現に至るプロセス、成果まで、受賞事例の全体像が把握できるプレゼンテーションを実施し、聴講者の皆様は各受賞者のプレゼンテーションを熱心に聞き入っていました。

今年度のPRアワードグランプリはエントリー名：アルバイトの立ちっぱなし問題解決を目指す「座ってイイッスPROJECT」（エントリー会社/事業主体：株式会社 マイナビ）をグランプリとして選出いたしました。同時に、ゴールド1件、シルバに7件、ブロンズ6件、審査員特別賞1件をそれぞれ選出しています。



本田審査委員長の講評と受賞者からのコメントを1月号協会ニュースに掲載予定です。

また、「PRアワードグランプリ 2024」の受賞エントリーの内容は、2025年2月下旬に開催予定のPRアワード受賞事例公開セミナー（仮）や、協会のWebサイトなどで紹介していく予定です。

## 「新春PRフォーラム 2024・賀詞交歓会」を 来年1月23日(木)に開催します！

新年1月23日(木)15時から、「新春PRフォーラム 2024・賀詞交歓会」を六本木・国際文化会館で開催いたします。

第1部はスマートニュースメディア研究所長 研究主幹 山脇岳志氏（元朝日新聞論説委員、元ワシントン総局長）氏が登壇、「日本の分断、アメリカの分断 ソーシャルメディア時代を生き抜くリテラシー」と題した特別講演を行います。

第2部は日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式を行います。また、表彰式に引き続き賀詞交歓会を開催いたします。

参加費はPRSJ会員10,000円(税込)、非会員12,000円(税込)です。お誘いあわせの上、奮ってのご参加をお待ちしています。

1月23日(木)当日のスケジュール(予定)は以下の通りです。

|                  | 時間          | 内容  |
|------------------|-------------|---|
| 新春PRフォーラム<br>第1部 | 15:00~16:00 | 特別講演会<br>講師：スマートニュースメディア研究所長(研究主幹)<br>山脇岳志氏(元朝日新聞論説委員、元ワシントン<br>総局長)<br>演題：日本の分断、アメリカの分断<br>ソーシャルメディア時代を生き抜くリテラシー |
|                  | 16:00~16:30 | 質疑応答  |
| 新春PRフォーラム<br>第1部 | 16:45~17:30 | 「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」<br>「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式   |
|                  | 18:00~20:00 | 賀詞交歓会   |

### 【山脇岳志氏プロフィール】

兵庫県出身。京都大学法学部卒。1986年、朝日新聞社に入社。宇都宮・横浜支局で、事件や地方行政などを担当後、東京本社経済部で大蔵省(財務省)、日本銀行・金融業界、郵政省(総務省)・情報通信業界などを担当。企画報道室などで、調査報道にも従事。

オックスフォード大学客員研究員などを経て、2000年~03年までワシントン特派員。帰国後、論説委員、経済部次長。別刷り「GLOBE」の創刊に携わり編集長も務めた。

2013年~17年までアメリカ総局長。2016年、トランプ氏が当選した大統領選をカバーした。帰国後、編集委員を経て、2020年にスマートニュース社に転職。2022年4月より現職。2021年~2024年、京都大学経営管理大学院特命教授、現在は、帝京大学経済学部客員教授を兼務。著書に「日本銀行の深層」(講談社文庫)、「SNS時代のメディアリテラシー」(筑摩書房)、編著に「日本の分断はどこにあるのか」(勁草書房)など。

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# 第37回1次試験 お申込み受付中 仮申込み期間は1月24日(金)まで

資格委員会

2025年度前期(第37回)1次試験のお申込み受付を12月1日(日)より開始いたしました。申込手続きに必要な仮申込み期間は2025年1月24日(金)までとなっており、試験期間は、2025年2月8日(土)～2月23日(日)の16日間で実施します。本1次試験は広報・PRに関する基本的な知識を問う出題となり、これまでに16,757名が受験し、12,379名が合格しております。

ぜひ受験をご検討いただければ幸いです。

- 全国に開設されたテストセンターで、PCを使って受験していただきます。
- 16日間の試験期間で、ご都合のよい日時・会場を選択できます。
- 受験料のお支払いはクレジットカード払い、コンビニ払い、Pay-easy(ネットバンキング)からお選びください。(手数料は無料です)
- 今回は定員の制限なくお申込み可能ですが、ご希望の日時・会場が先約で埋まってしまう場合もありますので、お早めにお申込みください。

### 【1次試験 お申込みから合否通知までの流れ】



### 【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第37回1次試験 実施概要】

|            |  |
|------------|--|
| 試験期間       | 2025年2月8日(土)～2月23日(日)  |
| 仮申込み期間     | 2024年12月1日(日)正午～2025年1月24日(金)23:59まで<br>※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。(本申込に必要な受験コードを取得)              |
| 本申込み期間     | 2024年12月1日(日)正午～2025年1月31日(金)23:59まで<br>※CBTS Web サイトにユーザー登録後、同サイトでの本申込みとなります。<br>(受験日時・会場選択、受験料のお支払い) |
| 合否発表       | 2025年3月5日(水)正午   |
| 試験出題数／試験時間 | 50問／80分  |
| 合格基準       | 全出題数に対して正答率70%以上で合格  |
| 対応公式テキスト   | 広報・PR概説(2024年度版)   |

試験スケジュールにつきましては、変更する可能性もございますので、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認くださいませう、お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト：<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



# —模擬緊急記者会見を体験する実践的な基礎講座— 「中堅実務者講座」開催レポート

教育委員会

教育委員会は、去る11月8日に、「中堅実務者講座」を開催しました。本講座は広報の現場のリーダーである中堅実務者の皆様を対象としました。

講師は、無印良品を展開する株式会社良品計画 経営企画部長 兼 ESG 経営推進課長 兼 広報課長の阿南 理恵氏です。阿南氏は2021年に良品計画へ入社。ESGのトップランナーを目指す良品計画にて、統合報告書「MUJI REPORT」の制作・発行をゼロから手がけられました。また、全社横断ESGプロジェクトを立ち上げ、推進するため月1回のESG推進委員会をスタートされるなど、多方面でご活躍されています。

そこで、講座では、「阿南氏が入社から3年ほどで社内の他部門や上司・チームメンバー・同僚、さらには社外のステークホルダーとともに多くのプロジェクトを実現するまでの道のり」や「経営トップをはじめ社内外のメンバーを巻き込みながら広報業務を進めるためのポイント」についてお話いただきました。

本当にリアルな体験をお話いただいたので、講座中も参加者の皆様から「なるほど!」などの声が上ががり、質疑応答ではたくさんの質問が飛び交いました。開催後のアンケートでは「社内調整におけるリアルなお話が大変面白かったです。」「具体的かつ赤裸々に語っていただき参考になりました。」などの感想をいただきました。

さらに講座終了後も、阿南氏と参加者の皆様との交流がメールなどで続いているそうです。

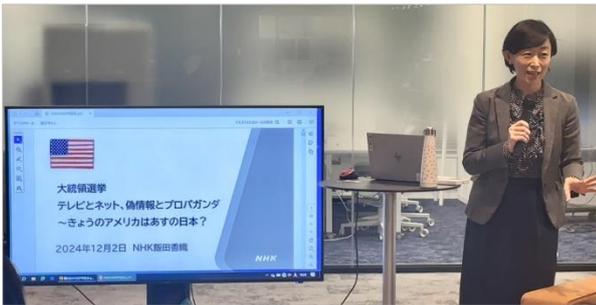
事務局にも「仕事へのモチベーションが上がりました!」といった感想をいただいたので、次年度以降もまた開催出来たらと考えております。気になっている方はご期待ください。

(教育委員会事務局 佐藤)



**2024 年度第 1 回 国際セミナー開催報告****「米大統領選挙 テレビとネット、偽情報とプロパガンダ」****～きょうのアメリカはあすの日本？～****NHK 解説副委員長 飯田香織氏****12 月 2 日（月）ダイキン工業東京支社内 Co-Creation Lab****国際・交流委員会**

日本パブリックリレーションズ協会「国際・交流委員会」は 12 月 2 日、東京ミッドタウン八重洲（東京都中央区）37 階のダイキン工業東京支社内 Co-Creation Lab で、「2024 年第 1 回国際セミナー」を開催しました。アメリカ報道の経験が豊富な NHK 解説副委員長の飯田香織氏を講師に迎え、11 月に行われた米大統領選をテーマに、選挙特番の視聴者が大きく変化したことや、偽情報やなりすましが横行したことなどをお話しいただきました。旬なテーマとあって参加した 41 人の関心は高く、セミナー後の交流会での議論も盛り上がりました。

**飯田香織氏：NHK(日本放送協会)・解説副委員長**

1992 年 NHK 京都放送局入局。1996 年に報道局・経済部に異動したのちは一貫して経済畑。2004 年から 4 年間、米ワシントン勤務。08 年に帰国し経済部で電機・IT 業界をカバーし、17 年再び米国へわたりロサンゼルス支局長。22 年報道局・ネットワーク報道部長、2024 年 8 月から現職。

2024 年 11 月 5 日に投票が行われた米大統領選。民主党カマラ・ハリス副大統領と共和党ドナルド・トランプ前大統領によって争われ、25 年 1 月にトランプ氏が再登板することが決まりました。今回選挙について飯田さんは、主に次の 4 項目についてお話してくださいました。

- ①2024 年大統領選報道の 3 つの特徴
- ②米大手メディアの偽・誤情報対策
- ③「なりすまし」による外国発のプロパガンダの横行
- ④広がった米メディアの付度

**<2024 年大統領選挙報道の 3 つの特徴>**

調査会社ニールセンのアメリカ内視聴者数データによると、今回の大統領選をテレビで見た人は 4230 万人で、2016 年の 7140 万人、20 年の 5690 万人から大きく減少しました。テレビ離れが進んでいることは明らかですが、そんな中で、飯田さんにとって印象深かったのは CNN の分析だったといいます。

『クロスプラットフォーム・オーディエンス』という新しいリーチ指標を出し、CNN ドットコム、動画配信も合わせた CNN 視聴者総数はアメリカ国内で 4400 万だったとしました

2 つめの特徴が、日本でも視聴できる有料ストリーミングサービスの「アマゾンプライム」(アマプラ)

が、選挙戦のライブ配信にはじめて参入したことです。「NBC ナイトリーニュース」のアンカーだったブライアン・ウィリアムズ氏を起用。15年に自身の経歴についての虚偽が発覚して地上波からは遠ざかっていた人物ですが、安定感があります。アマゾンには自らの取材網をもっていないので、AP通信やワシントン・ポストの数字を用い、そうしたメディアの記者がアマプラの特番に登場。「速報ではなくひたすら解説に徹していた」のがユニークでした。

3つめが、ネット放送「ポッドキャスト」が活用された選挙だったこと。両候補とも大手メディアのインタビューに応じなかったのですが、ポッドキャスト番組に積極的に出たのです。

ハリス氏は、黒人のラジオホスト、シャルマーニュ・ザ・ゴッドの「ブラックファーストクラブ」のポッドキャストに出演。トランプ氏はジョー・ローガンというポッドキャスターの番組に出て、「再生回数は5292万回に達した」そうです。

## <米大手メディアの偽・誤情報対策>



「今回の選挙では、フェイク（偽物）と本物の境目がなくなりつつあった」ことが、飯田さんの大きな懸念でした。

10月、ハリケーン被害として、女の子と子犬がずぶぬれになっている画像が拡散し、バイデン大統領を批判する世論形成につながる動きがありました。拡散のもとになったのは、共和党全国委員会のエイミー・クレマー氏のX（旧ツイッター）での発信で、大手メディアは生成AI（人工知能）で作られたフェイク画像であると指摘しましたが、クレマー氏は「発信元はどうでもいい。この写真の裏にもっとひどい事実がある」として、発信を削除しないと反論したのです。

偽情報の広がりや放置してきたのではないかと、大手メディアに反省する動きが出てきました。「伝統メディアは従来、立派なメディアはウソの否定はしない、正しいことを報じていたら十分だとしてきましたが、積極的にウソを否定しなければいけない状況になりました」と飯田さんはいいます。

## <外国発のプロパガンダ>

今回の選挙では、「なりすまし」が増えたことも大きな問題だったと飯田さんは話します。

9月4日、米国の情報機関の統括組織、ODNI（国家情報長官室）が発表した「選挙と情報工作」という報告書によると、ロシア、イラン、中国の各政府の勢力による工作が跋扈（ばっこ）しました。

ワシントン・ポストやFOXニュースといった有力ニュース媒体の本物そっくりの偽サイトも登場、URL（インターネット上の住所表記）も似ていて気づきにくいものだったといえます。

サンフランシスコの放送局を装った偽サイトでは、ハリス氏が13歳の女性をひき逃げし、歩けなくなったという女性が話す動画を流し、数百万回再生されました。ロシア政府と関係のある勢力が制作したもので、俳優による「やらせ」だったと発表されています。

## <広がるか…米メディアの忖度>

メディアの「忖度」がみられたことも今回選挙の特徴だったと飯田さん。

ワシントン・ポストは、英国出身のウィル・ルイス CEO が 10 月 25 日、「今回の大統領選では特定の候補を支持しない」と紙面で表明させました。ハリス氏を支持するという社説を報道部門が用意していたにも関わらず、でした。

「アンティシパトリー・オビディエンス」と表現された動きで「『先だって判断して従う』という意味なので、日本語の『忖度』に相当する」と飯田さんはいいます。

この忖度により、ワシントン・ポストは数日間で 25 万人ものデジタル購読者を失い、この事実をワシントン・ポスト自らが報道したこともアメリカらしい現象だったと指摘されました。

## 質疑応答



Q：ワシントンとロサンゼルスでの経験を踏まえ、いまは何がどう違うと感じていますか？

A：ワシントンにいたときはブッシュ大統領（息子）、ロスにいたときはトランプ大統領でした。当時と比べ、いまのアメリカは分断が進んでいます。アメリカから来る人の話をきくと、ものすごく分断が進んでいて、ここまでみんな物価高が不満なのか・・・と感じます。

Q：米国の本社からポッドキャストをやれといわれています。日本でポッドキャストはあまりなあ、と思うのですが、いかがでしょうか？

A：ポッドキャストの動画化は増えていくと思います。私も同級生に会うと「テレビはもっていない、YouTube と Netflix しかみてない」と言われますから。



司会進行：国際・交流委員長 江中一穂（住友商事広報部副部長）  
文責：井上純子（ダイキン工業・グローバル広報担当部長）  
写真：渡辺克己（K-WORK 'S 代表）、堀江春菜（住友商事広報部）

## 第 36 回 P R プランナー資格認定検定試験

# 2 次試験を 11 月 9 日 (土) ~17 日 (日) に実施 全国で、405 名の受験者が挑戦！

資格委員会

11 月 9 日 (土) ~11 月 17 日 (日) までの 9 日間あたり、第 36 回 P R プランナー資格検定 2 次試験が全国の CBT 試験会場で行われました。今回の 2 次試験では、428 名が受験申込みをされ、405 名が受験し、そのうち 275 名が合格されました。また、今回の 2 次試験の合格率は 67.9%となりました。本申込み者 428 名は、第 1 回 (550 名) およびコロナ禍後初試験 (513 名) を除き、過去最多の更新となります。

ご協力いただきました関係者の皆様には、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

なお、今回の 2 次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

< 第 36 回 科目別 正答率 65%以上 >

科目 A : CSR、IR、危機管理等、企業経営とコミュニケーションに関する知識

受験者 405 名、正答率 65%以上 181 名、達成率 44.7%

科目 B : マーケティング、ブランドマネジメントに関する知識

受験者 405 名、正答率 65%以上 208 名、達成率 51.4%

科目 C : 広報・P R 実務に関する知識

受験者 405 名、正答率 65%以上 257 名、達成率 63.5%

科目 D : 時事知識

受験者 405 名、正答率 65%以上 333 名、達成率 82.2%

< 第 36 回 2 次試験合格率 >

受験者 405 名、合格者 275 名、合格率 67.9%

※上記「科目別 正答率 65%以上」の人数は、2 次試験合格基準となる「出題数に対して正答率 65%以上」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。

### ■第 36 回 2 次試験(2024 年 11 月 9 日~11 月 17 日) 合格率・受験者プロフィール

|    |              | PR業/<br>PR関連業   | 一般企業<br>(広報PR関連) | 一般企業<br>(その他)  | 各種団体           | 教育機関          | 自治体            | 学 生            | その他            | 全 体               |
|----|--------------|-----------------|------------------|----------------|----------------|---------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 男性 | 受験者          | 35 名            | 77 名             | 12 名           | 4 名            | 5 名           | 8 名            | 2 名            | 7 名            | 150 名             |
|    | 合格者          | 21 名            | 62 名             | 9 名            | 2 名            | 4 名           | 6 名            | 2 名            | 4 名            | 110 名             |
| 女性 | 受験者          | 46 名            | 155 名            | 22 名           | 7 名            | 4 名           | 5 名            | 9 名            | 7 名            | 255 名             |
|    | 合格者          | 24 名            | 106 名            | 16 名           | 6 名            | 3 名           | 3 名            | 2 名            | 5 名            | 165 名             |
| 全体 | 受験者<br>(全体比) | 81 名<br>(20.0%) | 232 名<br>(57.3%) | 34 名<br>(8.4%) | 11 名<br>(2.7%) | 9 名<br>(2.2%) | 13 名<br>(3.2%) | 11 名<br>(2.7%) | 14 名<br>(3.5%) | 405 名<br>(100.0%) |
|    | 合格者<br>(全体比) | 45 名<br>(16.4%) | 168 名<br>(61.1%) | 25 名<br>(9.1%) | 8 名<br>(2.9%)  | 7 名<br>(2.5%) | 9 名<br>(3.3%)  | 4 名<br>(1.5%)  | 9 名<br>(3.3%)  | 275 名<br>(100.0%) |
|    | 合格率          | 55.6%           | 72.4%            | 73.5%          | 72.7%          | 77.8%         | 69.2%          | 36.4%          | 64.3%          | 67.9%             |

|    |     | 20 代 | 30 代 | 40 代以上 | 全体    |
|----|-----|------|------|--------|-------|
| 男性 | 受験者 | 35 名 | 56 名 | 59 名   | 150 名 |

|    |              |                 |                 |                 |                  |
|----|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
|    | 合格者          | 23名             | 39名             | 48名             | 110名             |
| 女性 | 受験者          | 95名             | 101名            | 59名             | 255名             |
|    | 合格者          | 53名             | 69名             | 43名             | 165名             |
| 全体 | 受験者<br>(全体比) | 130名<br>(32.1%) | 157名<br>(38.8%) | 118名<br>(29.1%) | 405名<br>(100.0%) |
|    | 合格者<br>(全体比) | 76名<br>(27.6%)  | 108名<br>(39.3%) | 91名<br>(33.1%)  | 275名<br>(100.0%) |
|    | 合格率          | <b>58.5%</b>    | <b>68.8%</b>    | <b>77.1%</b>    | <b>67.9%</b>     |

| 受験者         | 合格者         | 合格率          |
|-------------|-------------|--------------|
| <b>405名</b> | <b>275名</b> | <b>67.9%</b> |

## ■2次試験累計(第1回～第36回) 合格率・受験者プロフィール

|    |              | PR業/<br>PR関連業    | 一般企業<br>(広報PR関連) | 一般企業<br>(その他)  | 各種団体           | 教育機関           | 自治体            | 学生             | その他            | 全体                |
|----|--------------|------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 男性 | 受験者          | 1248名            | 1544名            | 416名           | 94名            | 105名           | 144名           | 163名           | 241名           | 3955名             |
|    | 合格者          | 980名             | 1289名            | 337名           | 79名            | 91名            | 123名           | 96名            | 204名           | 3199名             |
| 女性 | 受験者          | 1105名            | 2434名            | 430名           | 95名            | 84名            | 97名            | 205名           | 309名           | 4759名             |
|    | 合格者          | 761名             | 1821名            | 316名           | 66名            | 69名            | 75名            | 97名            | 234名           | 3439名             |
| 全体 | 受験者<br>(全体比) | 2353名<br>(27.0%) | 3978名<br>(45.7%) | 846名<br>(9.7%) | 189名<br>(2.2%) | 189名<br>(2.2%) | 241名<br>(2.8%) | 368名<br>(4.2%) | 550名<br>(6.3%) | 8714名<br>(100.0%) |
|    | 合格者<br>(全体比) | 1741名<br>(26.2%) | 3110名<br>(46.9%) | 653名<br>(9.8%) | 145名<br>(2.2%) | 160名<br>(2.4%) | 198名<br>(3.0%) | 193名<br>(2.9%) | 438名<br>(6.6%) | 6638名<br>(100.0%) |
|    | 合格率          | <b>74.0%</b>     | <b>78.2%</b>     | <b>77.2%</b>   | <b>76.7%</b>   | <b>84.7%</b>   | <b>82.2%</b>   | <b>52.4%</b>   | <b>79.6%</b>   | <b>76.2%</b>      |

|    |              | 20代              | 30代              | 40代以上            | 全体                |
|----|--------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 男性 | 受験者          | 1011名            | 1573名            | 1371名            | 3955名             |
|    | 合格者          | 742名             | 1284名            | 1173名            | 3199名             |
| 女性 | 受験者          | 1665名            | 2033名            | 1061名            | 4759名             |
|    | 合格者          | 1107名            | 1521名            | 811名             | 3439名             |
| 全体 | 受験者<br>(全体比) | 2676名<br>(30.7%) | 3606名<br>(41.4%) | 2432名<br>(27.9%) | 8714名<br>(100.0%) |
|    | 合格者<br>(全体比) | 1849名<br>(27.9%) | 2805名<br>(42.3%) | 1984名<br>(29.9%) | 6638名<br>(100.0%) |
|    | 合格率          | <b>69.1%</b>     | <b>77.8%</b>     | <b>81.6%</b>     | <b>76.2%</b>      |

| 受験者           | 合格者           | 合格率          |
|---------------|---------------|--------------|
| <b>8,714名</b> | <b>6,638名</b> | <b>76.2%</b> |

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

# PRプランナー・Meet up 2024 をリアル開催 80名以上のPRプランナーが参加！

資格委員会

PRプランナー資格取得者を対象とした「PRプランナー・Meet up 2024」を、11月25日（月）にコンgresクエア日本橋で開催しました。本会は、“ベテランPRプランナーとの業務の悩みや気付きを共有し解決する交流会”であり、PRプランナー資格取得者が参加対象となります。

コロナ禍前は、PRプランナー同士の交流と研鑽を図る活動をしていた旧PRプランナー部会により、定期的にPRプランナー資格取得者向けのイベントが実施されていましたが、コロナ禍後初の開催となりました。そのためか、平日夜間の開催にも関わらず、当初の定員40名を上回る90名以上の申込があり、会場を拡大しての実施となりました。



18時からベテランPRプランナー（元PRプランナー部会の幹事メンバー）の紹介のあと、資格委員会の田畑好崇氏（元PRプランナー部会部会長・元協会理事）の乾杯で始まりました。その後、ベテランPRプランナーを中心に8つのグループに分かれて交流を行い、18時半より全体での歓談となりました。

交流会では、「PRプランナー資格保持者の転職・社内異動成功事例」や、「PRプランナー資格保持による副業・兼業の利点」など、さまざまな意見交換が交わされ、80名以上のPRプランナー資格取得者が集う交流会となり、終了時刻の21時まで大盛況で終わりました。

なお、2025年3月15日（金）には、PRプランナー新規取得者を対象とした、自らが目指す“PRプロフェッショナル像”を考え、共有する創発ワークショップ「PRプランナー創発ワークショップ2025」を予定しております。

2007年に開始したPRプランナー資格制度。1次試験受験者は、のべで16,757名が受験うち12,379名合格。今年8月の試験では、コロナ禍後初試験を除き、申込み者は過去最多となりました。3次試験はこれまで3,591名が合格し、うちPRプランナー取得者は3,493名となっています。今後もPRプランナーが多く誕生し、さまざまな場面で活躍されることを願っています。



最後になりましたが、ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

## PRSJ「個人会員向けミートアップ 第1回」 11月15日(金)開催報告

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、個人会員のみなさまが気軽に交流していただく場として、新たに「個人会員向けミートアップ」をスタートいたします。

記念すべき第1回を2024年11月15日（金）に開催いたしました。参加者同士の交流会を実施。14名にご参加いただき、大変盛り上がりました。当日のイベントの様子をレポートいたします。

### ■開催の様子

第1回目の開催となる今回は、個人会員のみなさま全員を対象に、自由な意見交換やネットワーキングを楽しんでいただけるカジュアルな会として企画されました。

事業会社に所属している広報責任者やひとり広報担当をはじめ、エージェンシーやフリーランスのPRパーソンなど業種・業態問わず幅広い方々が、14名が参加。

日頃の業務で得た知見や経験を共有し、同業の仲間とコミュニケーションを深めていただく機会となりました。

### ■参加者の声

参加いただいた個人会員のみなさまからは、このような声をいただきました。

- 個人会員として集まる機会がこれまでなかったので定期開催してほしい。
- PRについて座学だけでなく直接出会える場はありがたい。
- 普段の仕事では会えない方との出会いがあり貴重なご縁をいただけた。

日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、今後も個人会員の皆さまに有益な情報提供や意見交換の場となるような企画やイベントを検討して参ります。



文責：日比谷 尚武（広報委員会）

**【正会員・個人会員限定】**

**第 233 回定例研究会**  
**“企業とメディアの関係構築”**  
**フジテレビ経済報道の視点から**  
**講師：株式会社フジテレビジョン 経済部長 小川 美那氏**

第 233 回定例研究会は、11 月 16 日（火）開催しました。講師は株式会社フジテレビジョン ニュース総局 報道局 取材センター 経済部長 兼 解説委員 小川 美那氏。テーマは「“企業とメディアの関係構築” フジテレビ経済報道の視点から」でした

## 協会掲載記事

● 12月1日(日)『月刊広報会議』(宣伝会議)1月号

『広報会議』1月号における当協会の連載コラムで、「広報・マスコミハンドブック (PR手帳) 2025」の発行が記事掲載されました。

記事では毎年発行している「広報・マスコミハンドブック」の概要にまず触れ、2025年版では「『今』を読み解く Keyword」で「ソートリーダーシップ」「DEI、DEIA、DEIB」などをはじめとして5つの新しいキーワードがとり上げられたこと、また「知っておきたい Fact Data」「PR・IR用語ミニ辞典」「PR関連団体」などのコーナーで幅広い内容が網羅されていることを紹介しています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

## ■ 会員便り

このページは会員の皆様から寄せられた情報をお伝えしております。  
※内容によって掲載についてご相談させていただく場合があります。

以下正会員の(株)電通 PR コンサルティング様から寄せられた原稿です。

### 「メディアトレンドレポート 2025～メディアが予測する 2025 年の 6 つの変化～」公開



#### ■ 「メディアトレンドレポート 2025」とは

電通 PR コンサルティングは、2025 年 11 月に「メディアトレンドレポート 2025～メディアが予測する 2025 年の 6 つの変化～」を発表しました。

創業以来 60 年以上にわたる広報・PR 活動を通して培ったメディアリレーションを活かし、経済・ビジネス、ファッション・ライフスタイル分野のメディアの編集長・副編集長など 20 人に「2025 年がどのような年になるか」についてインタビューを実施。各インタビューの結果から重なりを見だし、広報・PR 視点で独自分析したのがこのレポートです。

#### ■ メディアトレンドレポートが明かす “6 つの変化”

インタビューを通して、“6 つの変化”が見えてきました。約 40 ページにわたり、それぞれの変化について事例とともに解説。今まさに起ころうとしている、社会の動きを捉えることができます。企業・団体が取り組むべきコミュニケーションやビジネスチャンスなどの発見に活用できます。

- 変化 1. 地球規模の転換期へ 精神的な時代の到来
- 変化 2. 「失敗したくない」人たち BANI 時代における心理
- 変化 3. 増加する富裕層と高齢者 日本を動かす影響力
- 変化 4. 魅力と後れが共存する日本における変化の兆し
- 変化 5. 経営戦略としてのライフシフト 柔軟な働き方と豊かな体験
- 変化 6. 日本の強みで稼ぐ！グローバルへの挑戦と意識革新

『Media Trends Report 2025』の詳細およびレポートのダウンロードは、以下 URL をご参照ください。現在、個別の説明会やトレンドレポートを通じたプランニングなどの御相談にも対応しています。

<https://prx.dentsuprc.co.jp/blog/mediatrendsreport2025>

※電通 PR コンサルティングのオウンドメディア「PRX」に遷移します。

#### 株式会社電通 PR コンサルティング

電通グループ内の PR 領域における専門会社。1961 年の創立以来、国内外の企業、政府、自治体、団体の戦略パートナーとして、レピュテーション・マネジメントをサポートしています。データ分析を行い、そこから得られたインサイトに基づくコンテンツ開発と最適な情報流通デザインを通して、クライアントと共にソーシャルイノベーションへの貢献を目指しています。2009 年、2015 年には、日本国内で最も優れた PR 会社に贈られる「ジャパン・コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を、2018 年には「北アジア PR コンサルタンシー・オブ・ザ・イヤー」を PRovoke Media (旧 Holmes Report) から授与されています。



事務局の青田です。

12月はイベントが目白押し、懇親会も目白押しで大変です。心も肝臓もいささかくたびれましたが、それをはるかに上回る学び、喜び、楽しさがありました。この協会は、参加してナンボだと思つづくと思います。

## ■今年も勇気を与えられました！（PRアワードグランプリ 2024 表彰式）

時事通信ホールでの表彰式&プレゼンテーションは、今年もまたクオリティの高いプロジェクトの数々を一気に見せつけられ、会場全体が同じ志をもつ者同士の一体感と熱気を帯びて、感動すら覚える場となりました。まだ、参加されたことのない方は是非、来年ご参加ください。パブリックリレーションズの仕事に携わる誇りと勇気をGETできること間違いありません。

## ■感動して涙ぐむ受講者を初めて見ました・・・（広報部長スキル講座）

毎年実施している新任広報部長講座。今年は受講者の数も増え、上場企業をはじめとしてよく知られた会社からの参加者が目立ちました。講師のメディア、弁護士、ベテラン広報のみなさんのお話の密度が高く、非常に勉強になりました。特に、広報マネージャーのお手本となるであろう御三方の体験談とメッセージは、新任マネージャーのみなさんにとって羅針盤となり、大いなる勇気を与えるお話であったため、「参加してよかった」と感極まって涙ぐむ方もいらっしゃいました。

非常に評価が高い講座でしたので、来年度も同様の企画を実施したいと思っています。

## ■米大統領選のネット戦略とフェイクニュース（国際セミナー）

NHK 解説副委員長の飯田氏をお招きした国際セミナーは、コミュニケーションを生業にするみなさんにとって、いま最も旬のアジェンダである SNS 対応とフェイク情報をテーマとして開催されました。今号にレポートが掲載されていますので、ご一読ください。

年明け1月23日の新春PRフォーラムでも、元朝日新聞の山脇氏を講師にお迎えしてコミュニケーションと“分断”についてお話をうかがい、広報・PRの実務者がこの状況にどのように対峙すべきか考えます。是非、ご参加ください。

以上

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F